

1. 充電中にバッテリーが熱くなるのはなぜですか？

充電中はバッテリー内部の化学反応により熱が発生するのです。充電中に40℃くらいにまでなることがあります。これは正常な現象でバッテリーに害はありません。またバッテリーが完全放電しないうちに充電した場合もかなりの熱をもちます。この場合も危険はなく、バッテリーを痛めることもありません。Ni-MHバッテリーの場合、性能を維持しながら長く使用するためには、バッテリーを使い切った状態から充電することをおすすめしますが、過放電（点灯しなくなった状態でスイッチを入れたまま長時間放置すること）はバッテリーの寿命を著しく縮めますのでご注意ください。

2. バッテリーは充電器に接続状態で、どのくらいの時間そのままにしておけますか？

トピークの充電器は充電が完了すると自動的に微電流モードになり、すぐに過充電になることはありませんが、48時間をこえる長時間充電はバッテリーの寿命を縮めますので行わないでください。

注意:他の充電器をお使いにならないようお願いします。バッテリーを傷める恐れがあります。保証も受けられません。

3. バッテリーの耐久性や寿命はどれくらいですか？

バッテリーの耐久性は、バッテリーのタイプ、使われ方、メンテナンスの善し悪しなどさまざまな条件によって左右されます。一般的に容量の大きいバッテリーほど長持ちします。バッテリーの正常能力が80%くらいに落ちるまでの充電/放電回数は300回から500回と差があります。適正に手入れをすればバッテリーの寿命はおおよそ3年から5年です。

4. どのタイプのバッテリーが最も長持ちするのですか？

Ni-MH（ニッケル水素）バッテリーの耐久性は約500充電/放電サイクル。

Li-Ion（リチウムイオン）バッテリーの耐久性は約300～500充電/放電サイクル。

バッテリーがどれくらい長く使えるかは、本来の寿命もさる事ながら、どれくらいきちんとメンテナンスがなされているかがとても重要になります。

5. 電球はどれくらい持つのでしょうか？

ハロゲン電球の寿命はおおよそ2,000～3,000時間です。メタルハライド（H.I.D.）電球の寿命は約1,000時間です。

6. このライト システムを水につけてもいいのでしょうか？

いいません。このライト システムは、防滴式にはなっていますが、いわゆる防水式ではありません。少々の雨や雪、また湿気が多い状態でも問題ありませんが、水の中に入れると水が入り故障しますし、保証の対象になりません。

7. 寒い時にはどれくらい性能が低下しますか？

0℃に近い氷点下ではバッテリーの電圧や性能は著しく低下します。凍結時には5%から10%の性能低下（点灯時間は50%短縮）。-20℃では約30%も低下します（点灯時間は70%短縮）。

しかしこの現象は一時的で、バッテリー自体は害を受けません。まわりの気温が20℃くらいになると、本来の性能と電圧に戻ります。なお、ご使用時ならびに保管時、バッテリー自体の温度が60℃以上にならないようご注意ください。

8. 保管中にどれくらい放電するものですか？

23℃くらいで保管した場合、バッテリーの自然放電は1日1%程度です。また40℃で保管した場合は5%程度になります。

トピーク製品は全国有名自転車店でお買い求めいただけます。

ご質問は、最寄りのトピーク正規販売店へどうぞ。

Website : www.topeak.jp